

山形県感染症発生情報

第9週(平成22年3月1日～平成22年3月7日)

疾患名	報告数	増減	特記事項
(インフルエンザ定点 48)			
インフルエンザ	69	▼	多発中
(小児科定点 30)			
RSウイルス感染症	11	▽	
咽頭結膜熱	5	▽	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	147	▽	多発中
感染性胃腸炎	522	▲	多発中
水痘	34	▽	
手足口病	45	△	
伝染性紅斑	5	▽	
突発性発しん	15	▽	
百日咳	0	▽	
ヘルパンギーナ	0		
流行性耳下腺炎	77	▽	多発中
(眼科定点 8)			
急性出血性結膜炎	0		
流行性角結膜炎	7	△	
(基幹定点 10)			
クラミジア肺炎	0		
細菌性髄膜炎	0		
マイコプラズマ肺炎	1		
無菌性髄膜炎	0		

(▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少、多発中:報告数50名以上)

疾患名	報告数			累積報告数 (*平成22年1月～)
	第9週	1週前	2週前	
2類感染症				
結核	0	2	1	22
3類感染症				
コレラ	0	0	0	0
細菌性赤痢	0	0	0	0
腸管出血性大腸菌感染症	1	0	0	2
パラチフス	0	0	0	0
4.5類感染症				
E型肝炎	0	0	0	0
A型肝炎	0	0	0	0
オウム病	0	0	0	0
つつが虫病	0	0	0	0
ライム病	0	0	0	0
レジオネラ症	0	0	0	1
アメーバ赤痢	0	1	0	2
ウイルス性肝炎	0	0	0	0
急性脳炎	0	0	0	0
クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0
後天性免疫不全症候群	0	0	0	0
ジアルジア症	0	0	0	0
髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0
梅毒	0	0	0	0
破傷風	1	0	0	1
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	1
風しん	0	0	0	0
麻しん	0	0	0	0

1 本県のインフルエンザ定点当たり報告数は1.44人で、前週より3割減少している。

衛生研究所のウイルス分離結果によると、3月2日現在、型別は新型(A/H1N1)のみ検出されており、季節性は検出されていない。

2 感染性胃腸炎が、3週連続で増加している。県全体の定点当たり報告数は17.4人で、全国平均(12.4人 第8週)を上回っている。

村山・置賜・庄内地区で定点当たり報告数が多い。(定点当たり報告数 山形市:26.0人、南陽市:29.0人、鶴岡市:25.5人)。

集団感染事例も発生していることから、患者の吐物や便の処理には十分注意するとともに、手洗いの徹底が重要。

3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が、庄内・置賜地区で定点当たり報告数が多い(米沢市:20.0人、鶴岡市:12.3人)。

4 手足口病が、長井市、東根市の医療機関で定点当たり報告数が多い。(長井市:15.0人、東根市:5.0人)

5 流行性耳下腺炎が、依然として、庄内地区で流行している。また、西村山地区でも増加している。(定点当たり報告数 酒田市:10.7人、西村山地区:5.0人)。

6 腸管出血性大腸菌感染症の患者が、村山地区から1名報告された(0111 VT1)。

7 破傷風の患者が、置賜地区から1名報告された。

(3月9日現在 山形県衛生研究所)